

エコアクション 21

2024年度 環境経営レポート

対象期間 2024年4月~2025年3月



泰成工業株式会社

発行日 2025年 7月 10日



目 次		ページ
1. 事業活動の概要	1~9	・・・ P3・4
2. 環境経営方針		
2-1	環境理念	・・・ P5
2-2	環境経営方針	
3. 環境経営目標 (中期目標)		・・・ P6
4. 環境経営計画		
4-1	電力使用量の削減	・・・ P7
4-2	ガソリン・軽油	・・・ P7
4-3	都市ガス	・・・ P8
4-4	廃棄物の排出制御、リサイクル	・・・ P8
4-5	節水	・・・ P8
4-6	コピー用紙	・・・ P8
4-7	化学物質使用量の削減	・・・ P9
4-8	自らが提供する製品及びサービスに関する環境配慮	・・・ P9
4-9	社会貢献活動	・・・ P9
4-10	作業現場	・・・ P9
5. 環境経営目標の実績		・・・ P10
	実績推移グラフ	・・・ P11
6. 当期の取り組み		・・・ P12
7. 環境経営計画の取組結果とその評価・次年度の取組内容		・・・ P13
8. 環境関連法規等への違反、訴訟の有無		・・・ P14
9. 代表者による全体評価と見直し結果		・・・ P15

9. 各責任者の任務

職名	役割 ・ 責任 ・ 権限
代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境方針を策定する。 ・ 環境目標および環境行動計画を承認する。 ・ 経営環境システムの構築、及び運用、環境目標および環境行動計画の実施に必要な資源（人的、物的、財務的資源）を用意する。 ・ 環境管理責任者を任命する。 ・ 環境目標の達成状況について、毎年9月および3月に報告を受け、必要な場合は改善等を指示する。 ・ 毎年3月に環境経営システムおよび環境方針の見直しを行う。 ・ 関連法規の順守評価を行う。
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各部門責任者に『環境への環境負荷の自己チェック』および『環境への取組の自己チェック』を指示し、その結果を審査の上、承認する。 ・ 各部門責任者に環境目標の設定を指示し、その結果を審査の上、承認する。 ・ 毎年9月と3月に各部門の環境目標の達成状況について報告を受け、必要な場合は問題点の是正を指示する。 ・ 関連法の特定・維持・管理を行う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営システムの構築および運用に関して環境管理責任者の業務を補佐する。 ・ 環境管理責任者の指示により、必要な調査検討を行う。 ・ 環境経営システムに関する記録を保管する。 ・ 対外的な環境・法律関係の届出を行う。
各部門責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自らの部門において各担当者に『環境への取組の自己チェック』の実施を指示しその結果を点検の上、環境管理責任者に報告する。 ・ 各部門の『環境への環境負荷の自己チェック』を実施する。 ・ 部員に『EA21の環境目標・環境活動計画』を周知徹底させる。 ・ 環境活動計画を実施推進、管理する。 ・ 環境活動状況を事務局に報告する。
環境管理委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当社業務に関わる社員、外注業者代表によって組織され、第三者的視点から当社のEA21活動に関して問題点、疑問点を提議する。 ・ 資料等の配布連絡をする。必要に応じて会議を開く。

2. 環境経営方針

2-1 環境理念

私たち泰成工業株式会社は、限りある資源と年々深刻化する地球環境の変化を考慮し省資源と環境に配慮した事業活動を社員一丸となって取り組み必要とされる企業を目指します。

2-2 環境経営方針

当社はこの環境理念を具現化する為に、以下の活動を推進します。

- ① 環境の目標を定め、見直し継続していきます。
- ② 環境関連の法規、協定を遵守します。
- ③ 廃棄物の削減に努め、省エネルギー、リサイクルの継続的な改善に取り組みます。
- ④ 環境教育等を通じて全社員の環境に対する意識向上を図り、環境保全活動に努めます。
- ⑤ この環境方針を全社員に周知徹底させると共に、環境活動レポートとして、社外へ公表する。
- ⑥ お客様の快適な生産環境の維持に徹し効率的な生産向上をサポートします。
- ⑦ 環境に配慮した施工を提案し推進していく。

制定 2008年 10月3日

改定 2021年 8月1日

泰成工業株式会社

代表取締役 米元 将治

3. 環境経営目標（中期）

項目	2022年度実績	2023年度	2024年度	2025年度	
	基準値	目標値	目標値	目標値	
		基準値より 1%削減	基準値より 2%削減	基準値より 3%削減	
①二酸化炭素 排出量の合計 kg-CO2/億円	6,345.4 実数 (24,112.24kg-CO2)	6,282.0 実数 (23,871.12kg-CO2)	6,218.5 実数 (23,630.00kg-CO2)	6,155.0 実数 (23,388.87kg-CO2)	
内訳	電力 kWh/億円	1,157.9	1,146.2	1,134.7	1,123.2
	ガソリン ℓ/億円	1,330.7	1,317.4	1,304.1	1,209.8
	軽油 ℓ/億円	1,001.8	991.8	981.8	971.7
	都市ガス m ³ /億円	40.2	39.8	39.4	39.0
②廃棄物全体量 トン/億円	10.90	10.80	10.7	10.60	
③水使用量 m ³ /億円	10.0	9.9	9.8	9.7	
④コピー用紙 kg/億円	13.8	13.7	13.5	13.4	
⑤PRTR化学物質の 含有量 kg/億円	52.6	52.1	51.6	51.0	
⑥環境に配慮した原材料 の使用 (水性使用比率 %)	46.8	47.3	47.7	48.2	

※ 2023年度から2025年度の中期目標値は、2022年度実績値（売上高3.8億円）を基準とした

※ 2023年度から2025年度の目標値の電気の二酸化炭素係数実排出係数は

最新発表された **0.434kg-CO2/kWhを使用**（令和3年実績令和5年修正 中部電力より発表）

4. 環境経営計画

当社の環境負荷主要因は、電力・廃棄物・化石燃料・水と考え、各項目について、次の手順により削減を図ります。

4-1 電力使用量の削減

- ・ 事務所内空調設備の温度の適正化
 - ・ 事務所内の空調温度を夏季は27℃、冬季は20℃に設定します。
 - ・ 事務所内での服装は、空調に合わせたクールビズ、ウォームビズを推進します。
 - ・ 夏季はエアコンを使う前にまず窓を開け自然風での室内冷却から始めます。
- ・ 電力の適正化、スイッチの適正管理の徹底
 - ・ 長時間席を離れる時はパソコンの電源をOFFにします。
 - ・ パソコンの電源設定で30分以上操作しない場合は自動的に電源がOFFになる設定
 - ・ 人がいない場所の照明はOFF。特にトイレの照明は使用後必ず消します。
 - ・ 保温型電気ポットの廃止。飲用の湯は必要な分量だけ電気ポットで沸かします。
 - ・ 倉庫内での積み下ろしは極力明るい時間帯に行い、電力の使用を極力抑えます（2017年6月水銀灯からLDE照明へ取替済）
 - ・ 残業時間削減する事による 使用時間の短縮
 - ・ 昼休み・休憩時間は減灯を心がける



4-2 ガソリン・軽油

- ・ 新規に自動車及び内燃機関搭載の機械を購入する際は、排気ガスレベル、使用燃料、リサイクル素材の使用等など考慮します。
- ・ 今後の車両入れ替え時にも、低公害車にします。

A・トラック クリーンエンジン車	1台	
B・ハイブリットバン車	3台	
C・軽油車	1台	
D・ガソリン式リフト	1台	
E・電動式高所作業車	1台	
F・電動式リフト	1台	(2025.3月現在)
- ・ A~Dの社用車5台・リフト1台の燃料を管理し、アイドリングストップに努めます。
- ・ お客様の工場内で使用するガソリンエンジン式2トフォークリフト
その他の車両は規定に従い速度等を厳守します
- ・ 急発進、空ぶかしをしない。
- ・ オイル交換を適正時期行う



4-3 都市ガス

- ・都市ガス関連では給湯器の使用時以外は電源停止、設定温度は控えめにします。お湯の出しっぱなしをしない。
- ・即効性のあるガストーブはこまめに温度調節をします。



4-4 廃棄物の排出制御、リサイクル

- ・工場より持ち帰りの廃棄物は、2㎡積み小型廃棄物コンテナ3基に以下の内容分類して、資源化・廃棄します。



再資源化

- 1基 ・コンテナA (金属くず)
【塗料空缶・金属片・番線・機械類・ボルト等】

最終処分化

- 2基 ・コンテナB (廃プラスチック)
【養生ビニール・プラスチック・ビニール容器、硬化した樹脂等】

- 3基 ・コンテナC (砂がれき等廃棄物) 【砂利・砂・塵等】

- ・現場で発生したリサイクル可能な資源ごみ(ダンボール箱等)は持ち帰り倉庫内で折りたたみ、リサイクル廃棄物として資源化处理します。
- ・社内で使用するOA紙は、極力裏面を再利用します。又、裏面を使用して最終紙を廃棄する場合は、シュレッダーにかけて裁断し資源化处理します。
- ・鉄くず等の有価物を売却する

4-5 節水

- ・水道使用時の水量を削減する為に、以下の事項を厳守します。
- ・出しっぱなしにしない。又、洗物はまとめて行う。
- ・トイレの水は、小用の時は小レバーを使用し、余分な水は使わない。
- ・短時間での使用でも水量に気をつける。



4-6 コピー用紙

- ・極力、裏面の再利用
- ・印刷する場合、確認・再確認のうえ、不要な印刷物が出ないようにする。
- ・紙媒体の保管の必要性を見極め、データ保存でよいものは印刷しない。
- ・新規印刷で両面印刷できるものは両面に印刷をすること。



4-7 化学物質使用量の削減

- ・ 化学物質について種類・使用量・PRTR指定化学物質量を記録管理する。
- ・ 化学物質の安全性に関する情報伝達の為、SDS（安全データシート）により管理する。



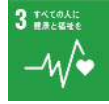
4-8 自らが提供する製品及びサービスに関する環境配慮

- ・ サービス提供する過程で使用する材料など、可能な場合は環境に負担の少ない水溶性に切り替えていく。（お客様仕様に従う）



4-9 社会貢献活動

- ・ ペットボトルのキャップを分別回収。キャップ売却利益により途上国の子供達のワクチン代に変換可能な為寄付。（近隣ステーションへ）
- ・ 非常食用缶入パンを購入、賞味期限1年となった時点で世界の飢餓対策となる義援物資として寄付する活動に参加。（次回寄付予定 令和8年5月頃）



4-10 作業現場

- ・ お得意様工場内ではアイドリングストップ必須
- ・ 効率アップや安全の為、作業道具は整理整頓し時間・体力の無駄をなくす
- ・ 作業で出たゴミ等は持ち帰り適正に分類して資源化・破棄します。



5. 環境経営目標の実績

項目	単位	2024年度 目標値	2024年度 実績	達成率	評価	
二酸化炭素 排出量の合計	kg-CO ₂ /億円 実数 (kg-CO ₂)	6,218.5 (23,630.00)	3,911.5 (20,887.60)	159%	○	
内訳	電力	kWh/億円	1,134.7	1,425.8	80%	×
	ガソリン	ℓ/億円	1,304.1	629.4	207%	○
	軽油	ℓ/億円	981.8	690.5	142%	○
	都市ガス	m ³ /億円	39.4	23.6	167%	○
廃棄物全体量	t/億円	10.70	11.25	95%	×	
水使用量	m ³ /億円	9.8	7.7	127%	○	
コピー用紙	kg/億円	13.5	10.9	124%	○	
PRTR化学物質の含有量	kg/億円	51.6	66.5	78%	×	
水性原料使用比率	%	47.7	2.7	6%	×	
		○	100%以上	目標	達成	
		×	100%未満	目標未達成		

※ 2022年度目標値には対象期間（2022.4~2023.3）売上高 3.80億円を使用した

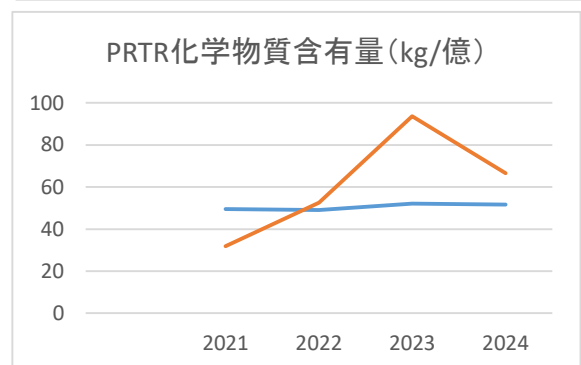
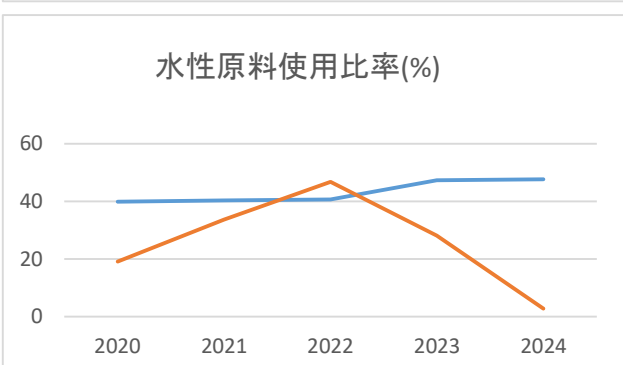
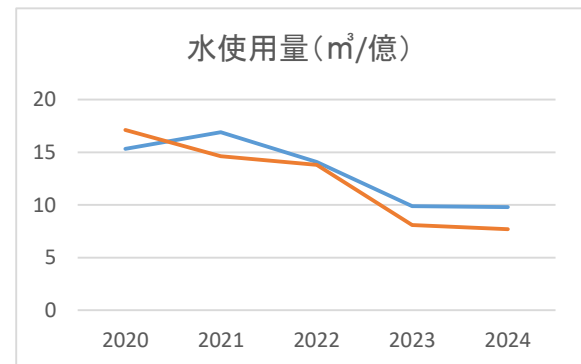
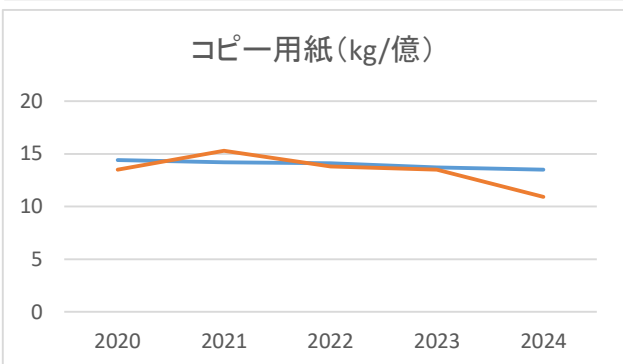
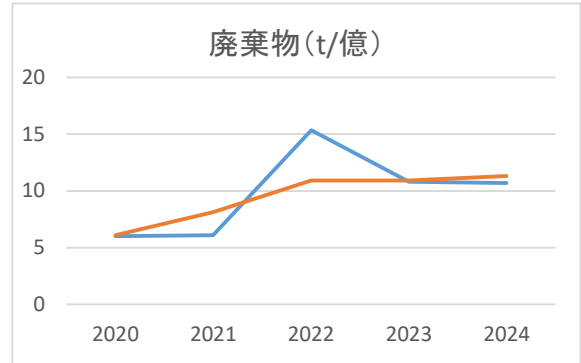
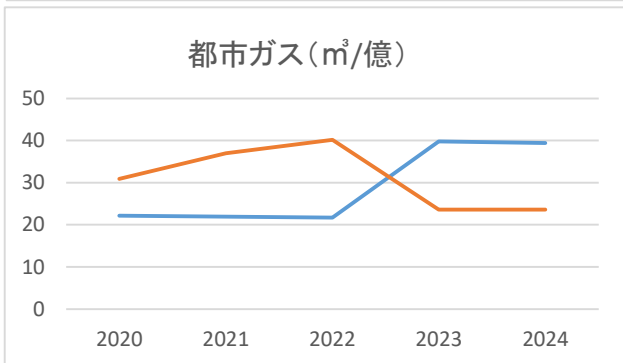
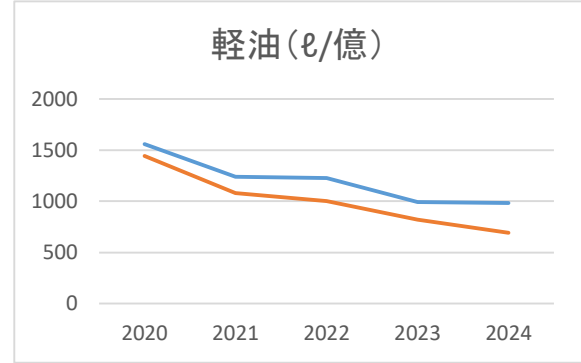
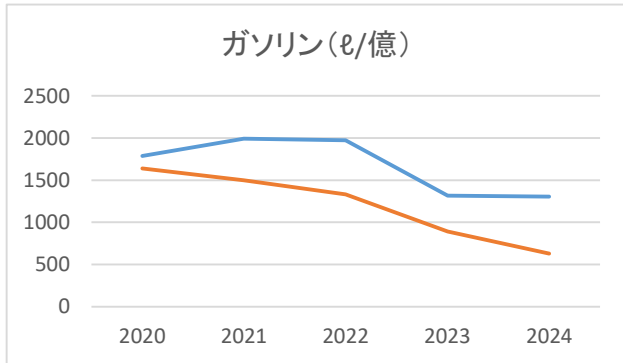
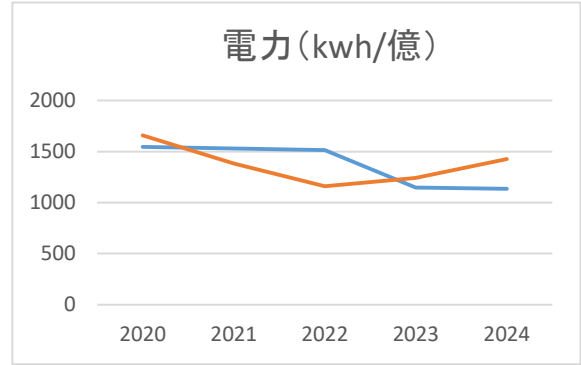
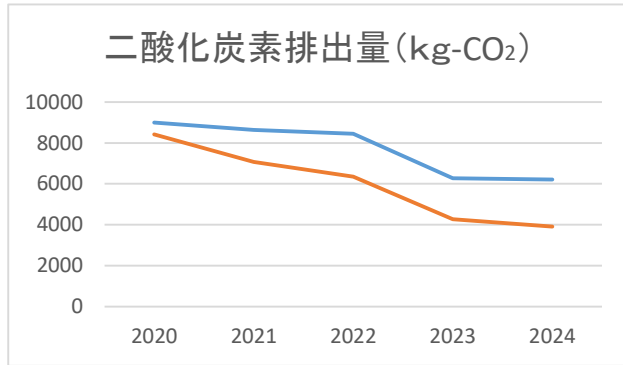
※ 二酸化炭素実排出係数は、0.434kg-CO₂/kWhを使用した

※ 2024年度実績値には対象期間（2024.4~2025.3）売上高 5.34億円を使用した

※ 二酸化炭素実排出係数は、目標値と同じ0.434kg-CO₂/kWhを使用した

目標値



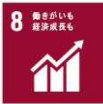

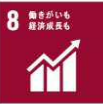
実績値



目標値

実績値

6. 当期の取り組み

SDGs	環境経営計画	内容	詳細
	4-9該当	非常食用缶入パンの寄付	<ul style="list-style-type: none"> 賞味期限1年となった時点にて世界の飢餓対策となる義援物資として寄付した (令和6年5月17日)
	4-1該当	室温対策 電力削減	<ul style="list-style-type: none"> 2F事務所 室温高温化対策の為西側の窓を撤去リフォーム 空調設備清掃
	4-2該当	車両整備	<ul style="list-style-type: none"> オイル交換を適正時に行い車両の管理に努める 各自管理を徹底
 		健康経営優良法人	<ul style="list-style-type: none"> 経営環境省の取組による健康経営優良法人に認定されました 従業員が心身ともに生き生きと働ける職場環境づくりの為の取組 社内喫煙所廃止 健康診断追加分補助有 年に2回 取締役との面談
		事務所移転	<ul style="list-style-type: none"> 経理総務部門1F 営業部署2F 場所が分かれたことで発生する業務の無駄を削減し効率化を図る
		全社員のスケジュール管理	<ul style="list-style-type: none"> 全社員の業務スケジュールの共有 随時確認の為の無駄を省き明確化する モニターと携帯電話にて確認可能



『救缶鳥プロジェクト』
参加時の感謝状

7. 環境経営計画の取組結果とその評価・次年度の取組内容

目的	活動項目	評価・取組結果	関連SDGs
電力削減	<ul style="list-style-type: none"> ・事務所の空調夏期27℃冬季20℃設定 ・クールビズ・ウォームビズ ・空調前窓を開け自然風で冷却 ・パソコンから長時間離れ時電源オフ ・パソコン30分自動オフ設定 ・トイレ・部屋使用以外時間消灯 ・倉庫内作業自然光時間内に努める ・会社内LED照明 不要箇所は消灯 ・残業時間削減 ・昼休み・休憩時間減灯 ・サーキュレーター 熱中症アラーム設置 ・除湿器・加湿器適時使用 	○ 取組は実施できた 今後もエコドライブ に努める	  
ガソリン・軽油	<ul style="list-style-type: none"> ・社用車4台・リフト2台・高所作業車1台 燃料・走行距離・燃料金額・整備等の管理 ・アイドリングストップに努める ・お客様の工場内で使用するフォークリフトや 車は規定に従い速度等を厳守します ・急発進・空ぶかしをしない ・オイル交換の適時実行 ・アルコールチェックの測定・記録 ・ドライブレコーダー等の定期検査 	○ 取組は実施できた が目標達成には至ら なかった、引き続き 節電を心掛ける	  
ガス	<ul style="list-style-type: none"> ・給湯器使用時以外電源オフ ・ガストーブのこまめな温度調整 (1時間に1度換気する) 	○ こまめな温度調節を 心がける	 
廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> ・工場より持帰り廃棄物分類し破棄・資源化 (金属くず・廃プラスチック等・がれき等) ・現場で発生したりサイクル可能ゴミの資源化 ・くず鉄等有価物売却 ・廃棄紙類をシュレッターして資源化 ・小さなメモ紙等もシュレッターして資源化 	○ 取組は実施できたが はつりの現場多く未 達成となった	 
節水	<ul style="list-style-type: none"> ・水の出しっぱなしをしない ・洗物はまとめて洗う (時短効果もあり) ・トイレの水は必要な極力必要量 (水流音♪使用) ・短時間でも水量に気をつける 	○ 取組は実施できた	 
用紙	<ul style="list-style-type: none"> ・裏面の再利用及び両面印刷 ・印刷時不使用するの無いよう確認・再確認 ・データ保存でよいものは印刷しない ・会社資料等、紙媒体からデータ資料へ転換 	○ 取組は実施できた	 
化学物質削減	<ul style="list-style-type: none"> ・種類・使用料管理記録 ・PRTR指定化学物質量の管理記録 ・SDS(化学物質安全データシート)の保管 ・廃棄を極力ださない購入量 	○ 取組は実施できたが 今期は増加した	 
配環境	<ul style="list-style-type: none"> ・水溶性に変換可能な場合の提案 ・特化側対応塗料の模索 (水性塗料ではない) 	△ 特化側対応塗料の塗料 使用ができなかった	 
社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトルキャップ回収 ・非常用缶入りパン義援物資に変換 パン義援次回2023.11月予定 	○ 取組は実施できた 今期は寄付完了	   
作業現場	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様工場内アイドリングストップ必須 ・効率アップや安全確保の為 作業現場は 整理整頓し時間・体力の無駄をなくす ・作業で発生したゴミは持ち帰り適正な分別をする 	○ 取組は実施できた	  

7.の評価基準表

○…十分取り組んだ △…ある程度取り組んだ ×…取組不十分(未実地含) —…評価保留

8. 環境関連法規等への違反、訴訟の有無

- ① 環境関連法規への遵守状況について、該当する法規のフロン排出抑制法 消防法.廃棄物処理法.省エネ法の厳守を確認した所 全て適応しておりました。
- ② 関係当局より違反等の指摘は過去3年間ありませんでした。

環境影響区分	法令等の名称	環境側面等	法令等の要求事項
大気	県民の生活環境の保全等に関する条例	自動車の使用	・アイドリングストップ周知 ・指導(駐車場の看板)
大気	フロン排出抑制法	業務用エアコンの修理・撤去 簡易点検	・愛知県指定の業者に依頼 ・業者に資格が有るか確認 ・回収依頼書(マニフェスト)の発行(3年間保存) ・3ヶ月に一度簡易点検(クーラー・スポット空調)
化学物質	消防法	可燃物の備蓄	・規定数量以内 ・火気厳禁・施錠確認・危険物詳細掲示
廃棄物	小型家電リサイクル法	パソコンの廃棄	・パソコンの廃棄は環境庁の認定事業者へ委託
	自動車リサイクル法	自動車の廃棄	・廃車は引き取り業者に渡す ・リサイクル料金の負担
	家電リサイクル法	家庭用エアコン 冷蔵庫・テレビ 洗濯機の廃棄	・指定業者に処分 ・リサイクル料金の負担 ・家電リサイクル券の保管
	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	一般廃棄物及び 業廃棄物の 扱い	産取 ・保管は飛散、流出、地下浸透防止 周囲に囲い・60cm×60cm以上の看板掲示 ・看板記載事項は廃棄物の種類 最大積み上げ高さ・管理者の名前と連絡先 ・委託契約書は、種類・数量・性状 最終処分の方法と能力 有効期限 金額・許可証控え保管 ・運搬と処分の関係 ・マニフェスト所定の様式 ・写しのみ返却時の報告 ・運搬終了時の写しの確認 ・処分終了時の写しの確認 ・管理表の保管(5年間) ・委託業社確認を年1回実地確認 (優良業者除外) ・前年度交付状況を6月末までに事業場ごとに 県知事へ報告

9. 代表者による全体評価と見直し結果

全体評価	項目		評価の内容
	環境への取組は適切 実施されているか		環境経営計画に従い適切に取組が行われた
見直し・指示	対象	変更の有無	見直しの項目
	環境経営方針	<input type="checkbox"/> 有 / <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	環境経営目標	<input type="checkbox"/> 有 / <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	環境経営計画	<input type="checkbox"/> 有 / <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	実施体制	<input type="checkbox"/> 有 / <input checked="" type="checkbox"/> 無	

項目	達成率	代表者による評価及び指示目標
電力	×	昨年度までは平日倉庫内での作業がほとんどない状況でしたが、社員増加に伴い平日の倉庫での作業が増加した。事務所も1F.2Fと分散された事も電力使用の増加となった。来期は目標値の見直しが必要である
ガソリン 軽油	○	9月より新社員1名通勤で使用以外は行動範囲に大きな変化はなかった 今期も遠方の現場も多くなかった事、各現場へスケジュールを組み効率良く行動できた
都市ガス	○	都市ガスの使用目的は、ガスストーブと給湯器であるが、社員の休憩時の飲み物は持参が多くなった為、洗い物や湯沸かし作業がほぼなくなった事が大きく数字となった。
廃棄物	×	はつり作業の現場が今年度も多く、重量の大きい廃棄物が多かった。 同じ業務はほぼ予測が付きにくい項目である
水	○	10時・15時の社員へのお茶提供が廃止された事も減少要因の1つと思われます 社員の増加もあり増加が予想されたが実数としても昨年と大きく違いがなかった。
コピー用紙	○	前年度に引き続き両面印刷を意識しデータのみで管理可能な件には紙資料を無くして行く方向にしています。定期的に多く印刷する工事届の件では新たに印刷必須の書面の増加が決定されており来期の使用量が気になるところです
PRTR化学 物質 含有量	×	大幅に未達成となりました。今期も前期に引き続き有機溶剤の使用が多く含有量が増加してしまいました。水溶性の提案は常に念頭にはありますが、仕上がりにマイナス面が出てしまう作業は不可の為、最善の塗料を選定している。
水性塗料 使用比率	×	極端に水系の使用が減少し含有量が増加のとなり大幅な未達成となりました。 水系の提案は常にありますが、お客様より有機溶剤の希望があった現場が多くありました。来期、目標値の見直しを検討する
社会貢献 活動	○	缶入りパンの2年に1度の寄付の年となりました。 このシステムは継続的に続けられる事が一番の利点であります。
作業現場	○	現場で発生する廃棄物は、必ず持帰ります。現場では他社業者様に迷惑をかけないよう道具等は整理整頓の徹底。夏期の熱中症対策も重要案件となった。

『整理・整頓・清掃・清潔・躰』の5Sを徹底すれば事業が向上し事故が減る。

お客様より繰り返し指示される7S運動です。当社の教育理念と併せて活動を推進しております。

作成日	2025年6月30日
社長承認	代表取締役 米元 将治